

ファンコニ貧血の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための検討を実施しています。

「ファンコニ貧血の遺伝子診断に関する検討を行っています。」

「ファンコニ貧血の患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択と経過観察に役立てることを目的としています。

これまでに保存された検体を検討しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方の保存された血液や骨髄の検体を用いて、原因となる遺伝子を、次世代シーケンサーなどを含む方法で調べます。

調査の対象は、一部の方です。

1996年から2001年のあいだに、ファンコニ貧血に対して、検査を行った患者さんのうちの一部のかたを対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

ご不明な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

この調査にご自分の保存された検体を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の保存された検体の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、当院細胞移植科担当医にお申し出ください。

(担当診療科：細胞移植再生医療科・連絡先：矢部みはる)

— 東海大学医学部付属病院 —